

# 2012 年中国通信市場年次会議概要

2012 年 4 月 18 日

JEITA 北京事務所 陳 明曦

日 時 : 2012 年 4 月 10 日 (火) 13 : 30 ~ 17 : 25

場 所 : 北京・五洲クラウンプラザホテル 2F

主催者 : 中国電子情報産業発展研究院

共催者 : CCID コンサルティング

参加者 : 工業と信息化部、CISCO、中国聯通、SAP 中国、NOKIA (中国)、Via Telecom、JEITA

北京事務所、各 IT メディア 約 200 人程度

内 容 : 以下の通り

## 【アジェンダ】

### <第一部> 来賓スピーチ

13 : 30 ~ 13 : 40 開幕挨拶 中国電子情報産業発展研究院 院長 羅文 氏

13 : 40 ~ 13 : 50 開幕挨拶 工業と信息化部通信發展司 司長 張峰 氏

13 : 50 ~ 14 : 30 通信産業に影響を与える五大要素とその見通し

CCID 副総裁 赫建營 博士

14:30~14:55 CISCO のクラウドコンピューティングビジョン@中国—「クラウドシェア」  
の構造について

CISCO (中国) 大中華区副総裁 冼超舜 氏

14:55~15:10 中国聯通「Wo クラウド」戦略及び発展

中国聯通研究院クラウドコンピューティンググループ主任 張雲勇 氏

15:10~15:30 モバイルインターネットの時代を呼ぶモバイルアプリケーション

SAP 中国解決案と構成部総経理 張志琦 氏

15:30~15:50 モバイルターミナルサービス技術及び管理能力の改善と最適化

Nokia (中国) アフター市場サービス部ディレクター 張冬生 氏

15:50~16:00 無線 LAN の世界へ Via Telecom CEO 特別助理 陳雪濤 氏

### <第二部> 授賞式

16:00～16:05 2012 年中国通信市場年間賞 授賞式

### <第三部> パネルディスカッション

16:05～17:20 サミットダイアログ

司会者：CCID 副総裁 赫建宮 博士

ゲスト：中国工程院院士 倪光南 氏

中国インターネット協会副理事長 高新民 氏

CISCO（中国）大中華区副総裁 冼超舜 氏

SAP 中国解決案と構成部総経理 張志琦 氏

Via Telecom CEO 特別助理 陳雪涛 氏

#### 【概要】

2012 年 4 月 10 日、中国電子情報産業発展研究院が主催、CCID コンサルティングが共催する「2012 年中国通信市場年会」が開催された。業界の主管官庁幹部（工業と信息化部）、地方都市の代表者、オペレータ、業界の専門家、ビジネスリーダー、業界ユーザ等を一堂に会し、中国通信市場の発展における新たな機会と成長ポイントを共に探った。

2012 年に入り、中国は第 12 次五ヵ年計画の全面実施という新たな段階に入り、中国経済構造調整及び産業転換とアップグレードの臨界期を迎えている。如何に全国範囲のブロードバンドや融合された安全且つ幅広い次世代情報インフラの建設を加速し、技術革新と産業転換を推進し、ICT 産業の応用とプロモーションを強化し、通信産業の健全かつ急速な発展を促進することにより、中国経済の安定な成長と産業転換とアップグレードを実現するかは、政府、通信産業乃至各業界の関心の焦点になっている。

こうした背景の下、中国通信業界の発展趨勢と動向を総合分析しながら、本年次会議では「雲・端（クラウドコンピューティング・端末）協同で統合を加速させ、モバイルインターネットが新たな局面を造る」をテーマに、2011 年の通信市場を顧みながら、2012 年の中国通信市場の発展戦略、中国モバイルインターネットの業界応用、クラウドサービス、モバイル操作システム、スマートシティ等多方面の議題について、活発な議論が行われた。

メインスピーカーの 1 つである CCID より、将来の通信産業に影響を与える五大要素について、通信業界全体の産業チェーンを整理しながら、次のとおり見通しを発表した。

通信産業における五つの新型産業形態と五大新興要素及びレイヤー：

1. 次世代移動通信／4G/LTE／ネットワーク

2. 光通信／FTTX／プランサポート
3. モバイルインターネット／新型智能ターミナル／ターミナル
4. 三網融合／IPTV／アプリケーション
5. クラウドコンピューティング／モバイルクラウドサービス／サービス

#### CCID からの提案／対政府

1. モバイルインターネットをモデル産業形態として推進したい場合、いくつもある主管機構から、全体をコーディネートできる統一された部門へ変わることが重要。新たな産業形態の成長を支える体制と仕組みの構築も必要。
2. 地方の特色を勘案しながら、独自のモデル産業形態を考える必要がある。地方政府の産業基盤に合致した形態を選択することが重要。
3. 産業実態と金融資本の融合、企業誘致から投資への方向転換は地方政府の将来発展にとって重要な要素である。

#### CCID からの提案／対企業：

1. ビジネスモデルイノベーションを牽引役として、技術モデルイノベーション能力を向上させる。
2. 産業チェーンの中核となるプラットフォームを押さえる。

同時に、本年次会議においてパネルディスカッションが行われ、モバイルインターネットに焦点が当てられた。ソフトとアプリケーションサービスのイノベーションに注目しつつ、「産業と市場の発展趨勢」、「クラウドコンピューティング及びモバイルインターネットの融合発展」「モバイルインターネットの発展によるローカル企業のイノベーション契機」の3つのトピックスについてパネルゲストがそれぞれの意見を述べた。

また、CCID が 2011 年中国通信市場に対する研究と調査の結果に基づき、中国通信市場に顕著な貢献をした先端プログラム、業界用アプリケーション、通信機器、運営サービス分野のトップ企業に対する「2012 年中国通信市場年間賞」の授与式も行われた。(具体的な受賞者リストはこちらの URL をご参照：<http://www.c114.net/topic/3393/a682250.html>)。

#### **【所長所感】**

近年、中国主要都市では、IT 情報通信分野の政府系シンクタンクやコンサルティング会社、工業会や学会等が主催する今回のようなイベントが数多く開催されている。こうしたイベント

を覗いて見ると、演壇に立つのは中国ローカル企業とシスコやインテル、ノキアといった米欧の大手 IT 関連企業の幹部や専門家が大半を占めており、日系企業の存在感は薄い。こうした現象が起きるのは、その企業の知名度が高いからという理由だけではなく、演壇に立つための高額なショバ代を支払う必要があることが大きな要因と思われる。

米欧の大手 IT 関連企業がこうしたイベントへの参加を行う理由は、中国政府機関とのパイプ作り、その分野でのトップメーカーであることを市場関係者や顧客に認知させることなど、その経費を支払ってでも企業の営業活動・PR活動を行うことにメリットがあると判断しているからであろう。日系企業もこうしたイベントの参加の是非について、ショバ代が高いということだけで判断するのではなく、個々のイベントのテーマ、主催者、参加者の重要度、影響力等を総合的に勘案し是々非々で判断していくことが必要であろう。

(以上)